

R06年度学校関係者評価（高校）

学校評価（高等学校）

教育目標（誠実な人間、良き社会人の育成）

評価項目	評価内容	自己評価		学校関係者評価	
		評価点	学校としての反省・改善策	評価点	意見等
1	本校の教育目標「誠実な人・よき社会人の育成」「清い心・たゆまぬ努力」を達成するための取り組みができています。	A	進路目標の設定を促す時から、即物的な価値観での選択ではなく、「誠実な人、良き社会人」という学園の教育目標に沿った未来をめざすよう導いている。そして全教員がその姿が生きたモデルとなるよう努めている。	A	自己評価に同意
2	本校はカトリック学校として全ての教育活動を通じ、その使命を果たしている。	A	イエス・キリストの隣人愛の教えを根幹に置き、生徒の発達段階や時代の変化に適切に対応する宗教行事や宗教教育を継続している。「宗教」の授業のみならず、学校長や宗教部の教員が担当する朝礼の話や毎日の朝夕のHRにおいても担任が折に触れ、キリスト教的価値観の育成に努めている。どの生徒達も祈ることの大切さや他者のために生きるという価値観を理解して、卒業を迎えることができています。	A	自己評価に同意
3	本校の教育課程は教育目標を達成するために、適切な工夫がされている。	A	新学習指導要領移行後初の卒業生が出るが、各コースの特性を生かした移行はスムーズに進み、進路実績にも反映した。ソフィアコースのIB（国際バカロレア）DP（ディプロマプログラム）認定後、初の卒業生も出るが、教員間での共有を充分にして浸透させることができた。	A	自己評価に同意
4	本校では生徒の努力の結果を正当に評価し、公正な単位認定が行われている。	A	新学習指導要領移行後、初の卒業生が出る。各教科を中心とした教員間で研究・共有を図り、公正で正確な評価がなされている。	A	12年生の各コースの進路実績が反映されたのは、先生方のご指導によるものだと思います。ただ11年のエグゼは2年が終わる4回目試験でも外部と内部で試験内容が違う科目があるようです。試験内容が違い、平均点も違う中、どのように成績の評価をされているか保護者に対しても説明が欲しいです。
5	本校では落ち着いた環境で生徒の学力をのばすための授業が行われている。	A	年に2度、授業アンケートを実施し、生徒の声・反応を聞き、改善の必要なことがあれば些細なことでも謙虚に受け止め、迅速な対応を心がけた。コンピュータ教室以外の普通教室でもICT機器を活用し、コミュニケーションをとりながら自発的な考えを促すような授業スタイルが確立されてきた。	A	自己評価に同意
6	教員の資質向上のため、授業研修や校内研修等が適切に行われている。	A	幼小中高の一貫した研究目的を踏まえ、4・4・4制の組織を生かした研修を年間を通して計画的に行うことができた。2つの研究グループを設定し、教員間の関りを密にする工夫をした。カレッジステージでは、授業改善とAIの活用をテーマとした研修をそれぞれ行い、教員の研鑽を積むことができた。	A	自己評価に同意
7	本校では、学級活動や個別面談などを通じ生徒・保護者の意見が掌握されている。	A	学級及び教科の担任、部活の顧問が綿密にコミュニケーションをとり、生徒、保護者の意見掌握に努めている。問題の大小にかかわらず、保護者への連絡を怠らず、家庭との連携をはかった。また情報は学年主任から管理職へと順次共有し、適切に対応している。	A	自己評価に同意
8	生徒を正しく導くために教師が共通理解をもち、生活指導に取り組んでいる。	A	ドン・ボスコの予防教育法を念頭に、生徒一人ひとりが愛されていると納得できるように丁寧な指導を心がけている。頭髪や所持品などの決まりに関しては、生徒指導担当者だけでなく、生徒達からの意見や要望を聞き、改善に向けて検討中である。生徒の表情をよく観察することで、問題が起きる前に予兆を察知し、叱られるから悪いことをしないのではなく、より良い選択ができる生徒の育成に努めている。	A	自己評価に同意
9	生徒の進路達成のために、適切な指導と学力養成が行われている。	A	3コース各々の特長が出口（進路実績）でもアップデートされた1年間だった。指定校推薦枠においては、今年度も新規追加枠（立教大学や芝浦工業大学、東京薬科大学など）があり、進路保障に厚みが出た。またIB一期生に当たるソフィアコース生を中心に教育提携校である上智大学に25名、ならびに協定校の南山大学、東京都市大学に合計8名の進学者を輩出することができた。エグゼコースにおいても年内の学校推薦型選抜で2名の医学部医学科の合格者を輩出することができた。一般選抜においても、医学医学科や旧帝大の複数名合格が期待できる。	A	指定校推薦が増えている事
10	生徒の健康・安全を守るために、通学・防犯・保健の適切な指導や施設管理が行われている。	A	登下校の時間帯、毎日南門に守衛を配置し、カレッジの教員も毎朝校門に立って生徒の安全を見守りつつ、交通安全指導に努めている。今年度、4～6号館の外壁工事並びに併設幼稚園施設改築工事があったが、子ども達の安全を考慮し、保護者にも周知をはかった。校内各所の照明のLED化、人感センサー付き照明の設置も進み、日没後の通行の安全も図っている。長期休暇中には全教職員が消火活動訓練や「危機管理マニュアル」の確認した。全校の児童生徒による防災訓練も、5月に実施した。全校生が教室に備えてきた防災頭巾は、一昨年の新入生から、より防災機能のあるヘルメットを常備させるようにした。夏季の熱中症対策にも配慮し、球技大会は空調設備の整った「このはなアリーナ」で実施した。他にも体育館に大型扇風機・冷風機を増設したり、教育活動での救護体制の充実をはかっている。	A	自己評価に同意
11	教職員がそれぞれの職務や担当する役割に対し、責任を持って取り組んでいる。	A	各分掌の部長、主任のもと、全教員が協力する体制ができています。本校への着任早々の学級担任もいたが、経験豊富な教員を中心に進路指導や生活指導、学年行事の運営がスムーズにできた。学年だけでなくコース別のタテの連携もより強まり、コースごとの特長をより伸ばすべく一人ひとりの教員の自覚も高まっている。	A	自己評価に同意

R06年度学校関係者評価（高校）

12	行事運営	校外外で行われる学校行事は教育目標に照らし十分にその役割を果たしている。	A	いずれもサレジオ精神に基づいて運営された。他者を思いやりながら協力する心を養いつつ、広く社会に目を向けることができた。サレジオ祭は1日目に生徒だけで舞台発表を鑑賞し、2日目には他のステージの園児・児童、保護者、同窓生と協力して展示や販売にあたり、皆でやりがいや達成感を味わえた。ドン・ボスコが推奨した思い切りからだを動かす体育行事としての体育祭も、観覧席に暑さ対策のテントを張り、十分な安全対策のもと、大きなけがもなく大いに盛り上がった。高校2年次で行く沖縄研修旅行ではコースごとの特性を反映した見学地の訪問も釣り入れ、充実した研修となった。伝統的な宗教行事も生徒主体の新しいアイデアが盛り込まれるようになり、生徒も教員も一体となって作り上げる行事ができるようになってきていることが感じられる。12月にはクリスマスを中心にプロジェクションマッピングも昨年に聞き続いて実施され、カレッジ生の大きな喜びになっただけでなく、プライマリーやミドルの生徒、保護者にも喜ばれた。	A	自己評価に同意
13	管理運営	学校組織の管理運営系統が明確で、役割分担や協力体制が整っている。	A	学校長、教頭、各校務分掌長、学年主任、教科主任、学年・教科担任と、それぞれのレベルでの管理運営ができています。相互に報告、連絡、相談を密に行い、齟齬がないように心がけている。	A	自己評価に同意
14	施設・設備	本校の施設、設備は生徒が生活する上で快適な環境として管理・整備されている。	A	各教室のエアコンは夏季・冬季の使用前には事前に運転動作の確認を行い、早めに修理点検よって不具合を極力減らすことができた。エアコンの清掃は定期的に、トイレは日常的に専門業者が清掃に入ることで、清潔に保たれるようになっている。まだ校舎の老朽化によって、窓枠やブラインドの不具合も絶えず発生するので、頻繁に点検や目配りをしながら、より快適な環境が提供できるよう努力している。雨漏りが頻発していた4・5・6号外積塗装をしたことにより、問題はほぼ解消された。傷病による車いす使用者の不便を解消すべく、エレベーターのない4・5号館の移動に備え、車いす用電動昇降機を設置した。1号館エントランスホールへの出入り口は自動開閉にし、防犯対策と共に車いす使用者を含めた来校者の便を向上させた。	A	自己評価に同意
15	課外活動	放課後の部活動や生徒会活動を通じ、教師が常に生徒と「共にいる」よう努めている。	A	ドン・ボスコの教育法であるアシステンツァ(共にいる)の精神をすべての教職員が意識して、放課後の活動に従事している。部活やサレジオメソッド、検定取得を目指す講座はもちろんのこと、地域の方々や行政、企業と連携しての活動が一層活発になっている。休日に指導にあたった教員の振替休日も取得しやすくなってきたので、教員の負担を軽減しながら喜びを持って生徒と接する時間を今後も増やしていきたい。	A	積極的に奉仕活動や地域貢献活動に参加していてとても良い。
全般、総合評価			A	進学実績の向上に伴って内外からの評価が高まり、教職員も生徒も、自信とともに一層の向上心が見られる。IB(国際バカロレア)のDP一期生に対しては指導する側の教員も初めてのことに試行錯誤を繰り返しながらも無事既定のプログラムを完了することができた。その効果は該当クラスのみならず、他の学年や他のコースにもIBの理念が少しずつ広がり、主体的に学べる授業のスタイルが拡大して全体に良い影響を及ぼしている。指定強化部となっている陸上、女子バレーをはじめさまざまな運動部の活動も活発になって好成績を上げ、一例として英検ではこの一年間で3名が一級、準一級を17名が取得するなど、各種検定の取得や文化活動の表彰も目覚ましいものがある。同時に、宗教の授業や行事を通じた心の教育も揺らぐことなく、ボランティアの参加者も多い。年を追うごとに、生徒たちはサレジオンとしての誇りをもって勉強にも課外活動にも意欲的に励むようになり、教職員もサレジオで教鞭をとっているという責任と喜びを感じながらともに過ごせるようになっていく。奢ることなく、弛むことなく、これからも教職員一同、生徒たちと共に成長していきたい。	A	英検一次試験は個々の努力になりますが、二次試験では先生のお名前は控えさせていただきますが、英語科の先生が面接対策に協力的で生徒からの感謝の声を聞きます。 内部進学者の転退学者がいるのが気になります。 勉強ができる子だけでなく、出来ない子を教い上げることも必要と考えます。

【評価点】

- A: 十分に成果があった
- B: 成果があった
- C: 少し成果があった
- D: 成果がなかった

【評価点】

- A: 十分に成果があった
- B: 成果があった
- C: 少し成果があった
- D: 成果がなかった

今後に向けての考え方(学校関係者評価を受けて)

学校の取り組みに対してあたたかいご理解とご協力をいただき、大変ありがたく思います。4番目の項目の評価・認定において、保護者の皆様への説明が足りないのご指摘を受け、当該教科ではすぐに事実確認をし、ご指摘をくださった方へは直ちに説明しご理解いただけました。同時に今後はもっと理解していただくためにどうすれば良いかを検討いたしました。本校ではコース別の少人数クラスをさらに進捗によって分け、きめ細やかな指導を進めております。保護者世代のほとんどの方が筆記試験の点数をもとに相対評価で成績をつけられてきた時代に比べ、評価方法が大きく変わり、わかりにくいと感じられていることと思っております。今後は保護者会や三者面談等のおりに説明を心掛け、またご不明な点があればいつでもすぐに声に出していただけるような信頼関係を構築していくよう努め、齟齬のないよう気をつけてまいります。総合評価でいただいた、内部進学者に転退学者がいることについてのご意見に対しましては、個々の事情があるのであり、決して成績不振が理由で転出しているわけではないことをご理解ください。むしろ低学年からお預かりしたお子さまを最後まで責任をもって大切に育む思いに変わりはなくなり、静岡サレジオの教職員は生徒達の卒業まで寄り添い応援しております。進学実績の伸びのみならず、生徒たちの多方面での活躍が校外外で高く評価していただけるようになり、在校生はもちろんのこと、卒業した同窓生もそれを喜び、母校を誇らしく思ってくれているとの声も聞こえております。在校生たちは先輩のがんばりに刺激を受け、種々の検定へも今まで以上に果敢に挑戦するようになってきました。とは言え、そうした生徒たちの取り組みには教材費や検定料、参加費などにおける保護者様の理解やご協力があるのであります。生徒達のやる気と保護者様の期待を損なうことが無いよう、学校といたしまして学習環境のさらなる改善、メソッド・部活のための設備の充実を図っていく所存です。もちろん聖ヨハネ・ボスコ以来の「予防教育法」に基づくサレジオの特長である、温かい細やかな目配りや、生徒に寄り添う教職員の姿勢も大切にまいります。お気づきの点があれば忌憚のないご意見と同時に励ましのお言葉もいただければ幸いです。